

★ボリビア大統領選での社会主義運動（MAS）へ祝電＝田中靖宏

社会主義運動（MAS）中央本部御中

10月18日に投票がおこなわれた南米ボリビアの大統領選挙での、社会主義運動（MAS）のルイス・アルセ候補（元経済・財務相）の勝利にあたり、日本AALAを代表してここからのお祝いを申し上げます。

昨年の選挙後のクーデターは、左派勢力の前進を恐れる米国やその追随勢力による不当な干渉の結果でした。モラレス大統領の再選を「不正」と断じた米州機構（OAS）の声明には何の根拠もなかったことが明らかにされています。続発した騒擾事件の背後にも米国とつながった極右勢力の策謀があったことが明らかになっています。米日を含む多くの一般マスコミが米国の報道をうのみにして「独裁者による不正選挙」にたいする民主主義の勝利などと評していたことが問われています。

こんどの選挙結果は、主権と民主主義、人権と人民生活の向上をめざすボリビア国民の大きな勝利です。それだけでなくボリビア人民のたたかいを外部から抑制し破壊しようとする米国や米州機構（OAS）内の大国干渉主義とその追随勢力を打ち破るものです。

日本AALAは、長い間の米国の支配からの自立と新自由主義の脱却をめざす中南米カリブ海諸国人民との連帯を重視してきました。アジアにあって発達した資本主義国でありながら多数の米軍基地がおかれて軍事的にも経済的にも米国の従属状態にある状況を打破して、非核・非同盟・中立の日本をめざす私たちの活動目標と重なりあうからです。

ボリビアでの今回の勝利は、中南米でこの数年顕著になっていた米国による左派政権つぶしの巻き返し策動を押しとどめる転換点になると期待されます。ボリビアがアルセ新大統領のもとで、中南米・カリブ地域人民の非核・平和の地域協力をいっそうすすめるリーダーシップを発揮されることを期待します。

2020年10月22日

日本AALA代表理事・国際部長 田中 靖宏